

# 委員会で詳しく審査しました



～令和6年第2回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～

## 総務委員会

議案1件を審査しました。  
 稲城市職員の公益的法人への派遣に関する条例の一部を改正する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

## 福祉文教委員会

陳情1件を審査しました。  
 市内に幼老複合施設を建設することに關する陳情書は、4件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。  
**問** 幼児と高齢者が交流することによるメリットは幼老複合施設でなければ得られないものなのか。  
**答** 現在、幼児が特養に特定の日訪問することによって、お年寄りが元気になるといったメリットは得られているものと判断している。また、保育園などの施設では、現在も高齢者との交流事業を実施しており、交流による幼児の発達への好影響というメリットは、幼老複合施設でなければ得られないものとは考えていない。

## 建設環境委員会

議案5件、陳情1件を審査しました。  
**稲城市市税条例の一部を改正する条例**は、1件の質疑があり、概要は次のとおりです。  
**問** わがまち特例の適用となる事業所が市内に参入した場合、財政的な影響は。  
**答** 特例の適用による固定資産税の減収額について地方交付税措置がされることから、特段の影響はない。  
 討論はなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

**問** 幼老複合施設のメリット、デメリットは。  
**答** メリットは、幼児との交流によって、笑顔になったり、非常に楽しみにしている、にこやかに過ごせるといったことがあり、デメリットは、感染症のリスクで、大変気を遣うことだと承知している。  
**問** 現状として、交流の機会がつかわれているのか。  
**答** 孫、ひ孫世代の乳幼児がたまに訪れて交流が持てる現在の取り組みが、高齢者にとって適切なタイミングなので、交流の機会は満たされているものと考えている。また、保育指針などで、交流の機会を設けることは重要となっており、各園で交流の場を設定し取り組んでいると認識している。

**問** スタッフにとつてのメリット、デメリットは。  
**答** スタッフの共有化は、それぞれ専門性が違うので、逆に負担があると考え、常に連携を要し、事故や感染症に注意が必要となり、負担が増えるという点では、定着率には課題があると考えている。  
**賛成討論** 全国各地の幼老複合施設の取り組みを調査、研究していつてほしいと思ひ、賛成する。  
 採決の結果、起立少数で不採択と決定されました。

**答** 剪定枝を破碎、運搬、二次粉碎まで一括処理し、チップ化可能な唯一の車両であり、価格上昇率は20年間で約1.79倍であった。消防団のポンプ車の上昇率が16年間で約1.78倍だったので、今回の価格は適正と考えている。  
**問** 剪定後のチップの活用は。  
**答** チップ化した木片は、全てリサイクル再生利用を行っている。  
 討論はなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。  
**稲城市道路線の認定について**（電線共同溝路線指定関係・1路線）、稲城市道路線の廃止について（坂浜における民間宅地開発関係・1路線）及び稲城市道路線の廃止について（坂浜における民間宅地開発関係・1路線）は、一括議題とし、質疑・討論がなく、いずれも、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

## 補正予算特別委員会

議案1件を審査しました。  
**令和6年度東京都稲城市一般会計補正予算（第1号）**は、9件の質疑があり、概要は次のとおりです。  
**問** 自主防災組織等活性化推進事業委託として実施を計画している事業内容は。  
**答** 自主防災組織の役割や補助の意識を醸成する映像資料を作成する。  
**問** 自主防災組織等活性化推進事業の概要は。  
**答** 市が実施する自主防災組織の活性化に関する事業について、国に提案し採択された場合、国からの委託事業となり、事業終了後に200万円を上限として、事業費が10分の10、市に支払われるもの。

**稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてください**は、2件の質疑と1件の討論があり、概要は次のとおりです。  
**問** バス降車場の屋根に関して、市の設計は。  
**答** 今年度より施行する稲城駅南口駅前広場改良工事において、令和7年度での設置を予定している。  
**問** 屋根を作るための予算は、来年度計上されるのか。  
**答** 令和7年度の予算議案として上程していきたい。  
**賛成討論** 令和7年度にバス降車場から駅まで屋根を設置予定とのことなので、ぜひ陳情を採択して進めていっていただきたい。  
 討論の後、趣旨採択を求め

る動議が提出され、採決の結果、起立少数で否決され、陳情について採決した結果、起立少数で不採択と決定されました。  
**問** エデュケーション・アシスタントの採用に当たり、どのような課題があったのか。  
**答** 授業の質の向上、児童への個別支援の充実、教員の負担軽減などの課題に対して、エデュケーション・アシスタントを配置する。  
**問** エデュケーション・アシスタントの時給の根拠は。  
**答** 時間単価は、スクール・サポート・スタッフや特別支援指導補助員などの時間単価を踏まえて、設定している。  
**問** 令和7年度以降のエデュケーション・アシスタントの配置についての検証は。  
**答** 各小学校での効果的な事例や課題について報告を上げてもらうとともに、教員の時間外勤務時間について確認することなどを通して検証していく。

**問** 新型コロナウイルス定期接種の対象者や接種回数は。  
**答** 65歳以上の方や、60歳から64歳で心臓・腎臓または呼吸器の機能に障害がある方などの中で希望される方が、クリニックなどに予約をしていただき、定期接種を1回実施する。  
**問** 今回の新型コロナウイルス接種は、市外での接種も可能か。  
**答** 稲城市以外の南多摩4市でも、市内と同様に取扱いができるよう調整していきたい。また、それ以外の市で接種を受ける場合は、自己負担額を差し引いた金額を助成していく。  
 討論はなく、採決の結果、起立全員で原案のとおり可決されました。

小学生  
 議会 傍聴

# はじめての議会見学



稲城第六小学校の6年生が校外学習として、6月5日に本会議の一般質問を傍聴しました。

見学した一般質問が、坂田副議長による小中学校のプールのあり方についての質問だったため、皆さん興味津々で耳を傾けていました。

一生懸命にメモを取り、議長や市長が座っている場所はもちろん、誰が質問に答えたのか、またどんな質問をしたのかまでしっかりと見て、聞いている姿が印象的でした。